

取扱説明書

保証書付き

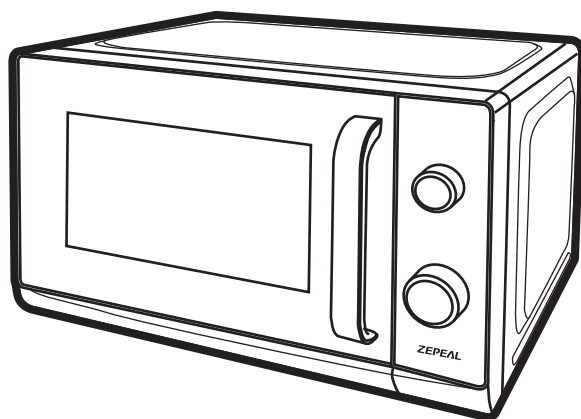
ZEPEAL

電子レンジ（家庭用）

品番 **DR-M2016F**

もくじ

安全上のご注意	1-3
各部のなまえ	4
設置について	5
使える容器について	6
使いかた	7-8
調理時間の目安について	8
『強』使用時のワット数について	9
お手入れのしかた	10
修理を依頼される前に	11
アフターサービスについて	12
仕様	12
MEMO	13-14
保証書（持込修理）	15

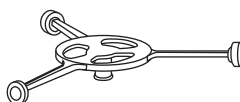


このたびはお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書(保証書付き)を最後までお読みのうえ、正しくご使用ください。特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にご使用ください。お読みになった後、大切に保管してください。

- この製品は一般家庭用です。業務用などにご使用にならないでください。
- 日本国内専用 AC100V以外の電源ではご使用いただけません。

付属品の確認

回転軸



庫内の底面の軸へ確実に
はめ込みます。

ターンテーブル



回転軸の上にセットしておきます。
ガラス材を使用していますので、
取り扱いには注意してご使用ください。

取扱説明書
(保証書付 裏表紙)



付属品や食品の出し入れ時は、必要に応じて市販のミトンやふきんなどをお使いください。
使用中に破損したり、紛失した時は、お買上げの販売店にご相談ください。(有料)

安全上のご注意

この電子レンジ(家庭用)は、食品の解凍・加熱調理のためのものですので、これ以外のご使用は絶対しないでください。この用途及び一般家庭以外(業務用等)でのご使用で発生した故障、修理事故、その他の不具合については、責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

ここに示した注意事項は、危害や損害を未然に防止するために重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 危険

取扱いを誤ると死亡または重傷を負う可能性が高い内容を示します。

⚠ 警告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠ 注意

人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。

絵表示の例



この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近辺に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



この記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近辺に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

※お読みになった後も、お使いになる方がいつでも見られる所に、保管してください。

⚠ 危険



分解禁止

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理・改造はおこなわない。

- 発火したり異常動作してケガすることがあります。
- 本体やドアなどの分解・修理・改造をおこなうのは危険です。
- 修理はお買上げの販売店または、修理サービスセンター(13ページ記載)にお問い合わせください。



禁止

吸気口・排気口やすき間にピンや針金などの金属物など、異物をいれない。

- 感電やショートして発火の原因になります。

⚠ 警告



使用前に、包装材はすべて取り除く。
包装用ポリ袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、または廃棄する。

- 調理運転中に発火し、火災・やけどの原因になります。
- かぶるなどすると、口や鼻をふさぎ、窒息の原因になります。



必ず実施

電源が必ずAC100V・15A以上のコンセントを単独で使う。

- 他の器具と併用するとコンセント部が異常発熱して発火することがあります。
- 延長コードも定格15A以上のものを単独でお使いください。

⚠ 警告



禁止

食品・飲み物を加熱しすぎない。

- 発火や発煙の恐れがありますので、様子を見ながら加熱してください。
- 以下の食品は特に注意する。
 - ・ 食品が少量のときは、自動で加熱しない。
(少量の加熱は様子を見ながら行う)
 - ・ 油が付いたもの(バター付きパン、フライものなど)
 - ・ 牛乳、コーヒー、お酒など取り出すときに突然沸騰して飛び散り、やけどをすることがあります。広口の容器に入れ、加熱前にスプーンなどでかき混ぜてください。
 - ・ 油脂分の多いもの(牛乳、生クリームなど)加熱しすぎたときは、そのまま20～30秒ほど庫内で冷ましてから取り出してください。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずにプラグを持って抜く。

- 電源コードが破損して感電やショート発火の原因になります。



禁止

調理中に電源プラグを抜き差ししない。

- 火災・感電の原因になります。



禁止

吸気口・排気口をふさがない。また、布やカバーをかけて使用しない。

- 故障の原因になります。



禁止

濡れた手で、電源プラグやコンセントにさわらない。

- やけど・感電・ケガのおそれがあります。



水ぬれ禁止

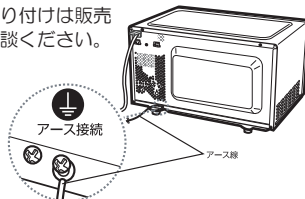
湿気の多いところや、水のかかるところへの設置はさける。

- ショート感電の恐れがあります。



アース線を確実に取り付けて下さい。故障や漏電のときに感電することがあります。

- アース取り付けは販売店にご相談ください。



電源プラグは根元まで確実に差し込む。

- 差し込みが不完全な場合、感電や火災の原因になります。
- ドアまたは扉シール面に損傷がある場合は、修理技術がある者による修理が行われるまで、電子レンジを動作させない。



禁止

電源コードを束ねたり、引っ張ったり、重いものをのせたり、加熱したり、加工したりしない。

- 電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。

- 感電やショートして発火の原因になります。



電源プラグやコンセントに付いたホコリは取り除き、電源プラグの刃は乾いた布でよく拭く。

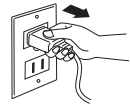
- 電源プラグとコンセントの間にホコリや水分が付着し、発火(トラッキング現象)するおそれがあります。
- 火災の原因になります。



プラグを抜く

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

- 感電やケガをする恐れがあります。



禁止

お子さまだけで使わせない。

- 誤操作による危害を認識し安全に操作できないお子さまだけでは使わせないでください。必ず、大人の方の監修のもと使用してください。感電・ケガ・やけどの原因になります。



びんのフタや栓をはずす。膜や殻のある物は、切れ目や割れ目を入れる。

- 容器や殻が割れて、やけどやケガ・故障のおそれがあります。



禁止

引火しやすいものは入れない。

- 爆発・火災の原因になります。
- 爆発の原因になるので、液体・その他食品を密封された容器に入れて加熱しない。

⚠ 注意



禁止

熱の弱いものを近づけない。
カーテンの近くや、たたみ、じゅうたん、
テーブルクロスの上に置いたりしない。

●発火、やけどのおそれがあります。



禁止

上に物を置いたまま使わない。

●熱で焦げて変形するおそれがあります。
●ドアの開閉で落下し、ケガをするおそれがあります。
水容器等のこぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電・火災の原因になります。



プラグを
抜く

異常時（こげ・臭いなど）は、運転を中止して
電源プラグを抜き、お買い上げの販売店または、
修理サービスセンター（15ページ記載）
にお問い合わせください。

●異常のまま運転を続けると故障や感電・火災の原因になります。



プラグを
抜く

長期間ご使用にならないときは、
安全のため電源プラグをコンセントから抜く。

●ホコリがたまり、発熱・発火の原因になります。



禁止

庫内がカラのまま加熱しない。

●異常高温になり、やけど・故障もおそれがあります。



禁止

アルミ箔・金属製食器や金銀箔などの
装飾のある食器などを入れて加熱しない。

●火花が出て発煙・発火の原因になります。



禁止

可燃性スプレーは近くで使わない。

●引火してやけどの危険があります。



袋入りの食品は、必ず袋から出す。
（特に内部がアルミ箔のレトルト食品や
脱酸素剤が入っているもの）

●発火のおそれがあります。
※レトルト容器などの食品によっては電子レンジで調理できる場合があります。食品の容器の表示に従って調理してください。



禁止

本体が転倒、落下した場合は、
外部に損傷が無くても使用しない。

●感電や電波もれのおそれがあります。
販売店にご相談ください。



高温注意

ラップをはずすときは注意する。
蒸気が一気にでるのでゆっくりはずす。

●やけどのおそれがあります。



禁止

卵（殻付卵、ゆで卵）や密閉容器など
完全に密閉されたものは、レンジで加熱
しない

●爆発することがあり、大変危険です。
●卵は殻を割り、ほぐしてから加熱してください。



禁止

衣類の乾燥などの調理目的以外の使用は
しない。

●異常動作による発火、やけどの原因になります。



禁止

ターンテーブルに衝撃を加えたり、
熱くなった状態で冷水につけない

●破損による、ケガのおそれがあります。



禁止

ドアに無理な力を加えたり、
物をはさんだまま使用しない。

●電磁波漏れによる障害が起きることがあります。



禁止

庫内の食品から発煙。発火したときは、
ドアを開けない。

●ドアを開けると酸素が入り、勢いよく燃えます。
●次の処理をしてください。

- ①ドアを閉めたまま、タイマーつまみを「切」に合わせる。
- ②電源プラグを抜く。
- ③本体から燃えやすいものを遠ざけ、鎮火するのを待つ。
鎮火しない場合は、水か消火器で消火する。
そのまま使用せず、必ず販売店に点検を依頼してください。



「使える容器について（6ページ）」を
確認する。

●容器によっては、焦げたり、燃えたりして使用できないものがあります。「電子レンジ使用可能」の表示があることを確認してください。
●食品をプラスチックまたは、紙の容器に入れて加熱している時は、着火の可能性があるため電子レンジから目を離さないでください。



禁止

庫内やドアに油・食品カス・煮汁などを付け
たまま放置したり、加熱しない

●さび、発火、発煙などの原因になります。
付着した場合は、本体が冷めてから必ずふき取ってください。

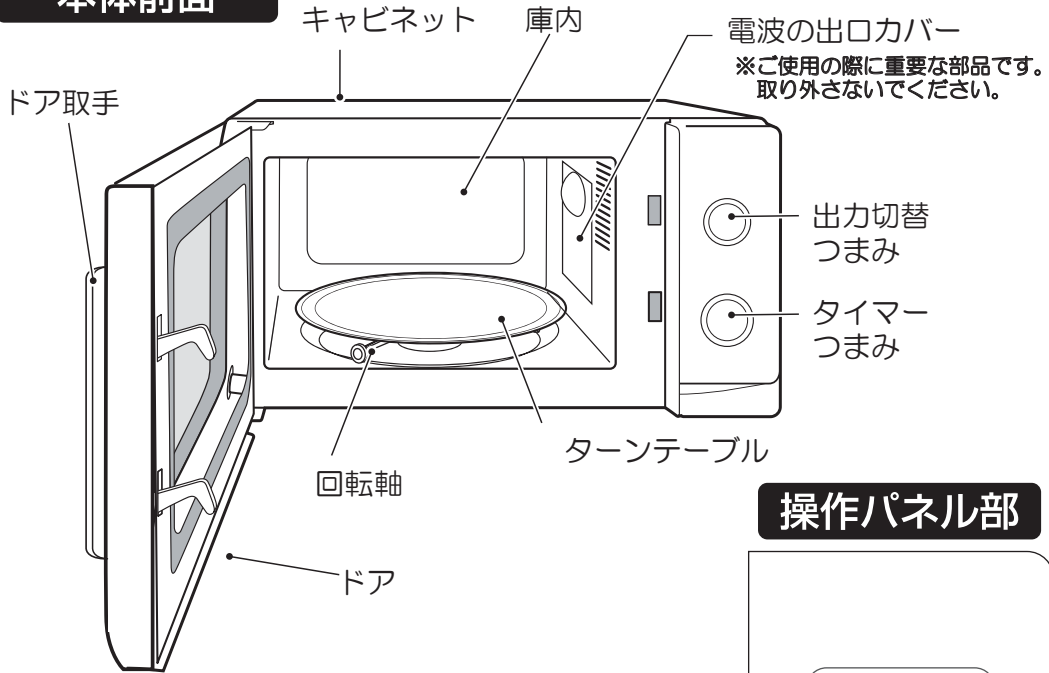


乳幼児のミルクの温めは、仕上がり温度を
確認する。

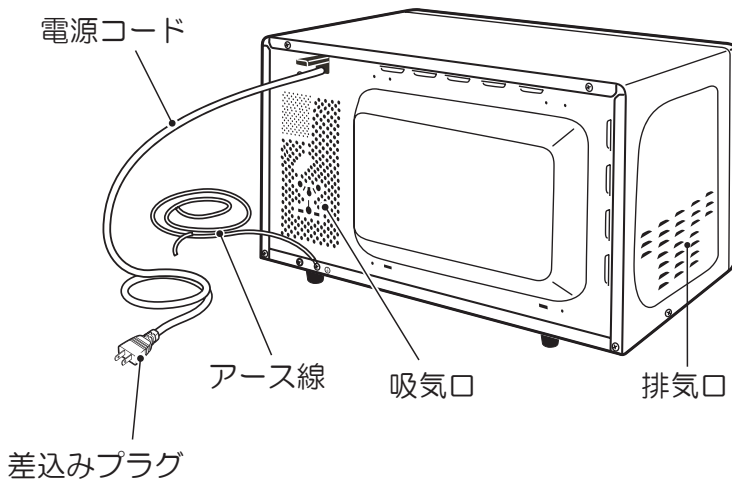
●やけどのおそれがあります。
中身をかき混ぜて温度を均一にしてから、仕上がり温度を確認してください。

各部のなまえ

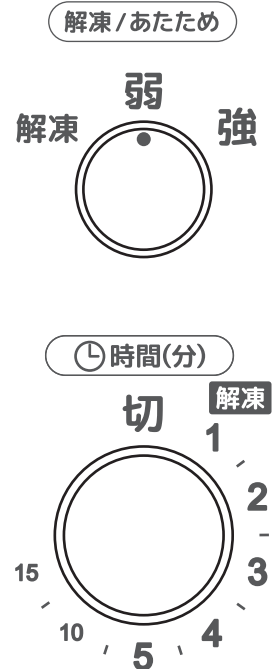
本体前面



本体背面



操作パネル部



ZEPEAL

⚠ 注意

ターンテーブルにアルミ箔、ビニールなどを敷かない。
●正常に機能しなかったり、故障の原因になります。

※イラストと実際の商品は多少異なる場合があります。

設置について

置き場所のご注意

⚠ 注意

設置の際は、下記の距離を確保してください。

- すきまの少ない場所で使用すると、壁などが過熱して発火する恐れがあります。
- 5面で囲まれたところには設置しないでください。
- 水気・湿気の少ないところで使用してください。
- 感電・故障の恐れがあります。

■テレビ・ラジオ無線機器の近くに置かない

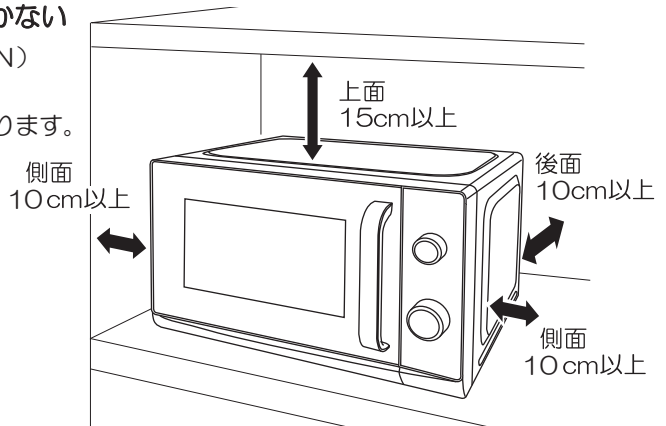
本体はテレビ・ラジオ無線機器（無線 LAN）等から 4m 以上離してください。
雑音・画像の乱れ、通信エラーの原因になります。

■壁との間をあける

本体上方は 15cm 以上、左右側面と背面は 10cm 以上すきまを開けてください。
排気口や吸気口をふさがないでください。

■風通しのよい場所に置く

風通しが悪いと吸気が十分行われず、正常に作動しなくなります。



アース線を取り付ける

⚠ 警告



アース接続

アースを確実に取り付けてください。

- 故障や漏電のときに感電することがあります。

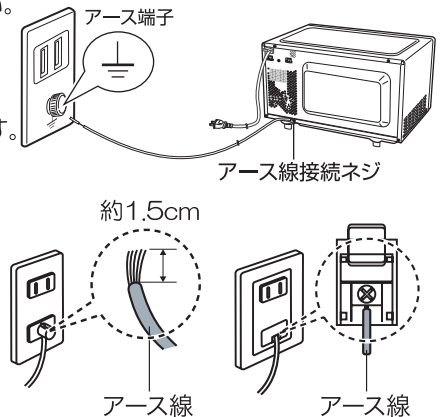
●アースの取り付けは、お買い上げの販売店にご相談ください。

●アース端子付きコンセントを使用する場合

- ①アース線が本体のアース端子に、しっかり接続していることを確認し、アース線先端の皮を約 1.5cm むきます。
- ②アース端子付きコンセントにアース端子をしっかりとつなぎます。

●アース端子がない場合

お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。



■アース工事（電気工事資格者によるD種接地工事）が必要な設置場所

湿気の多い場所

土間、コンクリート床、地下室、醸造、貯蔵所など

水気のある場所（漏電遮断器も設置必要）

鮮魚店、青果店の作業場で水を扱う場所、水滴の飛び散る場所、地下室など結露の起きやすい場所。



ご注意

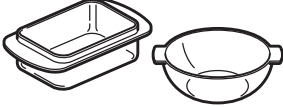
ガス管や水道管、電話機や避雷針には絶対に接続しないでください。法令で禁止されています。

使える容器について

●使えない容器は発火や故障の原因になるので使わない。

○ 使える容器

■耐熱性プラスチック



●耐熱温度が140℃以上、または「電子レンジ使用可能」の表示があるものが使えます。
※油分の多い食品などは高温になるため使えません。またふたは熱に弱いものがありますのでご注意ください。

■耐熱性ガラス



●容器本体または取扱説明書に記載されている表示をご確認ください。
※急加熱・急冷却すると破損することがあります。
※強化ガラス・カットガラスなども耐熱表示のないものは使えません。

■陶器・磁器



●普段お使いの陶磁器はほとんど使えます。
※色絵やヒビ、金銀のある陶磁器は傷んだり、火花が飛び容器を傷めることがありますので使えません。
※急加熱・急冷却すると破損することがあります。

■ラップ



●耐熱温度が140℃以上のものが使えます。
※油分の多い食品などは高温になるため使えません。

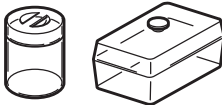
✕ 使えない容器

■耐熱性でない一般ガラス 強化ガラス



※耐熱表示のないガラスは使えません。
※強化ガラス・カットガラスなども耐熱表示がないものは使えません。

■耐熱性でないプラスチック



●スチロール・ポリエチレン・メラニン・フェノールなどは使えません。

■漆器・紙・木製



※漆器は塗りが剥げたり、ヒビ割れたりして使えません。
※紙・木・竹製品も焦げたり燃えたりして使えません。

■金属・アルミ・ホーロー



●アルミホイル、ホーロー、金属カップなどは使えません。
●缶詰や、レトルト容器（材料にアルミ箔などを使用した容器）は別の容器などに移して加熱してください。
※レトルト容器などの食品によっては電子レンジで調理できる場合があります。食品の容器の表示に従って調理してください。

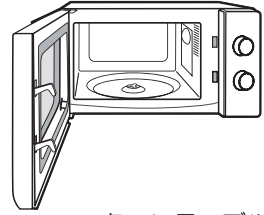
※上記に記載のない容器の使いかたについては、容器の製造メーカーにお問い合わせください。

使いかた

使用前の準備

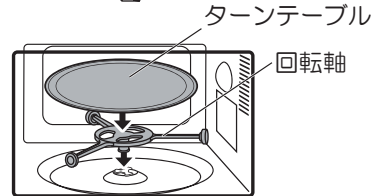
1 ドアを開けて、庫内の付属品を全て取り出す

- まだ差し込みプラグを差し込まないでください。



2 回転軸とターンテーブルをセットする

- 回転軸を庫内底部に正しくセットしてから、回転軸の上にターンテーブルをセットします。
(中央の回転軸の形状とターンテーブルの凹形を合わせます)



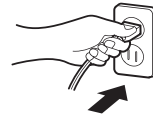
注意

使用時は、ターンテーブルの汚れや水分をよくふき取る

- 発煙・発火のおそれがあります。

3 ドアを閉めて差し込みプラグを差し込む

- タイマーつまみを「切」に合わせてください。



出力切替の使い方

1 食品を容器に入れて、庫内のターンテーブル中央に置いてドアを閉じる

出力切替つまみ (例:あたため弱)

- ターンテーブルに食品を直接のせないでください。
ターンテーブルは食品容器ではありません。
(6ページ参照/使える容器について)

2 出力切替つまみを回し、表示のいずれかに合わせる

- 食品の量と種類に合わせてダイヤルをお選びください。

■あたため

	弱	強
50Hz	400W	500W
60Hz	400W	600W

- ごはん、おかずのあたために使います。加熱すぎないように様子を見ながら加熱してください。
- 市販の冷凍食品などのあたためには、包装に記載されたワット数、時間を目安に加熱してください。

■解凍 50Hz/60Hz (200W)

- 肉、魚などを解凍するときに使います。
- 市販の冷凍食品などのあたためには、包装に記載されたワット数、時間を目安に加熱してください。
※解凍がたりない場合は、「弱」で様子を見ながら加熱してください。



警告

芋、栗など皮や殻で覆われている食品は、切れ目を入れる

- 殻などが割れてやけどやケガ、故障などのおそれがあります。



注意

加熱後の容器の取り出しは直接手で行わない

- 容器が熱くなっており、やけどのおそれがあります。

ラップをするときは、容器にぴったりと、食材の部分はゆったりと余裕をもって覆う

- 破裂のおそれがあります。

使いかた

タイマーの使い方

1 タイマーつまみを時計方向に回し、表示の(分)に合わせる

- つまみを時計方向に回し、設定すると加熱がはじまります。
- 点灯した数字を見ながら、あたため時間を設定してください。
- 庫内灯が点灯し、ターンテーブルが回ります。

2 加熱が終わったら食材を取り出す

- 庫内灯が消灯し、お知らせブザーが鳴ります。
- 3分後に表示部が消灯します。
- 加熱しないとき、または加熱中にやめたいとき
 - タイマーつまみを反時計方向に回し、ブザーが鳴りましたら加熱がおわります。

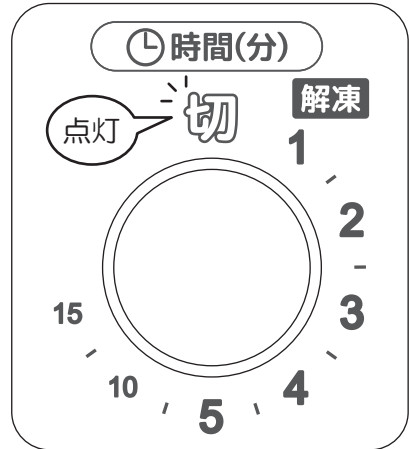


注意

庫内がカラのまま加熱しない

- 異常高温により、やけど、故障のおそれがあります。

タイマーつまみ



調理時間の目安について

下記の温め時間を設定するときの目安を表示しています。(60Hz：出力『強』の場合)
 温め前の食品の温度や種類によって適正な時間が変わります。様子を見ながら加熱してください。
 ※食品に加熱時間などの表示がある場合は、そちらも参考にしてください。

常温・冷蔵食品				冷凍食品			
食品名	ラップ	分量	加熱時間	食品名	ラップ	分量	加熱時間
ごはん	－	1杯(150g)	約1分	ごはん	○	1杯(150g)	約2分30秒
煮物	○	200g	約2分	カレー・シチュー	○	200g	約4分
みそ汁・スープ	○	1杯(200ml)	約2分	ハンバーグ	○	2個(180g)	約2分30秒
カレー・シチュー	○	200g	約2分	まんじゅう	○	1個(65g)	約1分
焼きそば	－	1人分(200g)	約2分	シュウマイ	○	10個(160g)	約4分
ハンバーグ	－	2個(180g)	約1分30秒	ゆで野菜			
天ぷら・フライ	－	1人分(200g)	約2分				
焼きとり	－	6本(180g)	約1分30秒	じゃがいも	○	200g	約5分
チャーハン・ピラフ	－	1人分(250g)	約2分	にんじん	○	150g	約4分30秒
牛乳	－	1杯(200ml)	約1分30秒	白菜・キャベツ	○	200g	約2分30秒
コーヒー	－	1杯(180ml)	約1分30秒	ほうれん草	○	200g	約2分30秒
お酒	－	1杯(180ml)	約1分	かぼちゃ	○	400g	約4分
肉まん・あんまん	－	1個(65g)	約1分	ブロッコリー	○	200g	約2分30秒
お弁当	○	1個(400g)	約2分				



ご注意

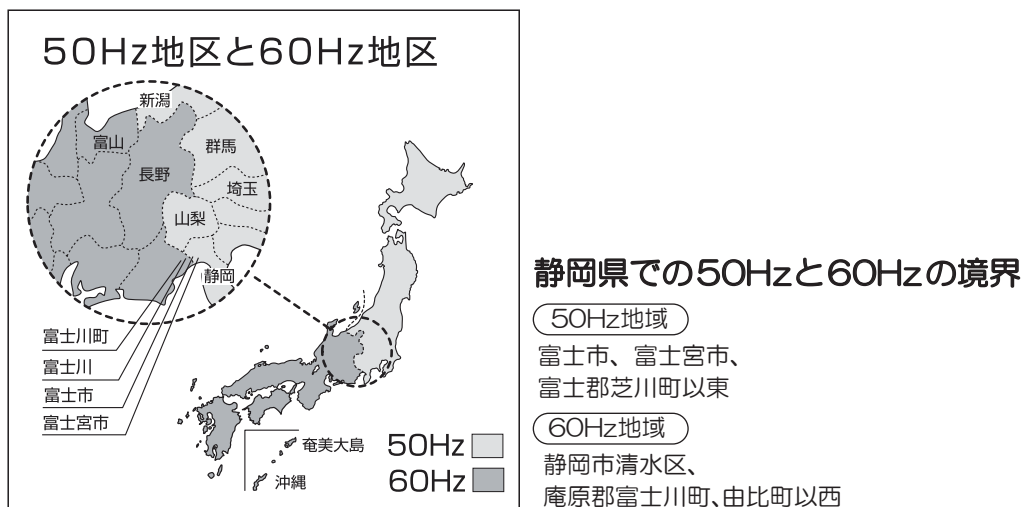
- 冷凍野菜(ミックスベジタブルなど)は少量の加熱はしないでください。発火・発煙のおそれがあります。
- 加熱しすぎると、取り出すときに突然沸騰して飛び散ったり、やけどすることがあります。そのまま20～30秒ほど冷ましてから取り出してください。

『強』使用時のワット数について

■この電子レンジ(家庭用)の『強』のワット数は電源周波数 50Hz または 60Hz によって変わります。

	解 凍	弱	強
50Hz	200W	400W	500W
60Hz	200W	400W	600W

- 引越しなどで電源周波数が変わりますと、『強』使用時のワット数も変わります。
- 引越しなどで移転先の電源周波数が不明なときは、お近くの電力会社にお問い合わせください。
- 必ずアース線を取り付けてください。
- 電波周波数は東日本では50Hz、西日本では60Hzです。(下図参照)



お手入れのしかた

⚠ 警告

安全のため、必ず電源プラグを抜いてからお手入れしてください。

●感電する恐れがあります。

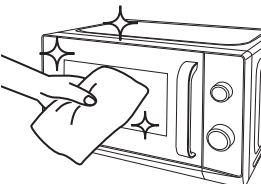
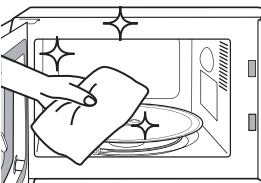
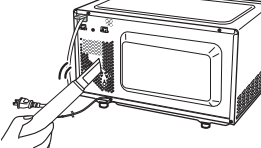
庫内が冷めてからお手入れしてください。

●やけどの恐れがあります。（使用後すぐは庫内が熱くなっています）

差込みプラグの刃は、乾いた布でよく拭いてください。

●差込みプラグとコンセントの間にホコリや水分が付着し、発火（トラッキング現象）や火災の原因になります。

お手入れの方法

差込みプラグ		長期間ご使用になると、電源プラグとコンセントの間にホコリや水分が付着することがありますので、電源プラグを抜き、乾いた布で拭きとってからご使用下さい。
本体外側		汚れがひどい場合は、ぬるま湯か中性洗剤を布に含ませて拭き取っていただくと、汚れが取れやすくなります。また、中性洗剤を使用した場合は、水を含ませた布で完全に拭き取った後、さらに乾いた布で拭いてください。
ドア・庫内		固く絞った濡れふきんで拭いてください。 汚れが落ちにくいときは、濡れふきんを庫内に入れ、1～2分加熱し、ふたを開け、熱さを確かめながらやけどに注意して中のふきんで庫内を拭き取ります。
吸気口 排気口		柔らかい乾いた布で軽く拭いてください。ホコリが吸気口などに入り込んでいる場合は、掃除機のノズルなどを使ってホコリを吸い取ります。

⚠ やけどに注意

電子レンジは定期的に清掃し、庫内の汚れ（食品等のカス）を取り除いてご使用ください。電子レンジが清潔な状況でないと、表面の損傷により機器の寿命へ悪影響を及ぼし、危険な状態になる可能性があります。

■ターンテーブル・回転軸

取り外してスポンジたわしで洗い、水分を乾いた布でふき取ってください。

■庫内壁面・底面

食品のカス、油汚れなどが付いた状態で使用すると、食品のカスが燃えたり焦げたりすることがあります。長い間放置すると、通常より早く傷みます。金属たわしなどは使用しないでください。

■揮発性のものは使わない

シンナー・ベンジン・みがき粉化学ぞうきんなどは、変形や割れが発生することがあります。

■吸気口・排気口

月に1度は、掃除機でお手入れしてください。吸気口、排気口にホコリがたまっていると、故障の原因になったり、機能が低下し十分に性能を発揮できません。

お手入れ後の安全点検

1. 電源コードが痛んでいませんか？
2. 電源プラグに異常な発熱はありませんか？
3. 電源プラグやコンセントにホコリが付着していませんか？
4. 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？

修理を依頼される前に

ご使用中に異常が生じたときは、次の点をお調べください。

それでも調子が悪い場合は、ただちに差込みプラグを抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなとき	お確かめください
通電・作動しない	●停電していませんか。 ●差込みプラグをコンセントにしっかりと差し込んでいますか。 ●ご家庭の電源ヒューズや配電盤のブレーカーが切れていませんか。
ターンテーブルが回らない	●回転軸とターンテーブルは正しくセットされていますか。 ●容器などが庫内の壁に触れていませんか。 ●回転軸に食品カス等がついたままになっていませんか。
運転中に「ジー」という音がする	●動作音で故障ではありません。
調理中または調理後に、音がしたり、しなかったりする	●機械を冷却するファンの音で故障ではありません。 ●レンジ調理後も冷却ファンが回りますが故障ではありません。
火花がでる	●金銀箔の飾りのある容器を使っていませんか。 ●アルミ箔や金属もの（スプーン、金串など）が入っていませんか。 ●庫内の壁にアルミ箔や金属製のものが触れていませんか。
異常音ができる	●ターンテーブルが正しくセットされていますか。
異臭がしたり、煙ができる	●庫内やドアに食品カス等が付いていませんか。また、煮汁等の油がこぼれていませんか。
加熱終了後、ドアを閉めたらスタートした	●タイマーつまみが「切」になっていますか。 ●加熱終了後は、必ずタイマーつまみを「切」にしてください。

上記の処置をしても直らなかった場合は、お買い上げの販売店へ点検・修理をお申し付けください。

●お客様ご自身での修理・改造は危険を伴いますので絶対にしないでください。

※修理には特殊な技術が必要です。

アフターサービスについて

- 1.保証書は必ず「お買い上げ年月日」と「販売店名」等所定事項の記入及び記載内容をご確認のうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。記載内容をよくお読みになり大切に保管してください。
- 2.保証期間は、お買い上げ日から1年間です。保障期間中に修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店まで保証書を添えて商品をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。
- 3.保証期間経過後の修理についても、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって、機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 4.この商品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後8年です。補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- 5.商品に異常がある場合には、お客様自身で修理されたり、手を加えたりすることは危険です。絶対にしないでください。
- 6.アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店、または当社コールセンター（15ページに記載）にお問い合わせください。

★個人情報の取り扱いについて

株式会社電響社は、お客様よりご提示いただいた個人情報について、適正な管理を行い、修理業務を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、お客様の同意が無い限り、第三者へ開示または提供は致しません。

仕 様

種類	電子レンジ（家庭用）
型番	DR-M2016F
庫内容量	18L
定格電圧	AC100V
定格周波数	50/60Hz
定格高周波出力	50Hz・500W/60Hz・600W
定格消費電力	50Hz：950W
	60Hz：1300W
発振周波数	2450MHz
外形寸法	（約）幅440×奥行358×高さ258（mm）
加熱有効寸法	（約）幅306×奥行307×高さ190（mm）
ターンテーブル直径	（約）255（mm）
質量（重量）	約11.3kg
電気コード長	約1.5 m
区分名	A
年間消費電力	59.5kWh/年

- この製品は、海外ではご使用になれません。FOR USE IN JAPAN ONLY
- この製品は50Hz・60Hz共用になっています。
- 製品の品質向上のため、予告なく仕様を変更する場合がございます。

This image shows a full page of white paper with horizontal dashed lines, typical of primary-ruled notebook paper. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

This image shows a full page of white paper with horizontal dotted lines, typical of primary-ruled notebook paper. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.



コールセンター 本社: 〒556-0006 大阪市浪速区日本橋東2丁目1番3号
TEL: 0120-070-440 [受付時間] 9:00~17:00(土曜、日曜、祝日を除く)
FAX: 06-6644-4433

修理サービスセンター TEL: 075-681-2430 [受付時間] 9:00~17:00(土曜、日曜、祝日を除く)
FAX: 075-681-0886
住所: 〒601-8362 京都府京都市南区吉祥院長田町24(電響社サービスセンター)